

令和6年度病床機能報告における 非稼働病棟等の状況について

非稼働病棟等への対応について

平成30年2月7日付け医政地発0207第1号地域医療計画課長通知「地域医療構想の進め方について」に基づき、令和6年度病床機能報告における非稼働病棟等の状況を確認

① 病床が全て稼働していない病棟（非稼働病棟）を有する医療機関

- ・ 病床機能報告の結果等から、病床が全て稼働していない病棟※を有する医療機関を把握した場合には、以下の説明を求めること。
 - ①病棟を稼働していない理由
 - ②当該病棟の今後の運用見通しに関する計画

※ 病床が全て稼働していない病棟とは、過去1年間に一度も入院患者を収容しなかった病床のみで構成される病棟

② 過剰な病床機能に転換しようとする医療機関

- ・ 病床機能報告の結果等から、過剰な病床機能に転換しようとする医療機関の計画を把握した場合には、病床機能を転換する理由について説明を求めること。

③ 急性期医療を提供していない病棟を有する医療機関

- ・ 高度急性期又は急性期と報告した病棟のうち、急性期医療を全く提供していない病棟については、その妥当性を確認すること。

非稼働病棟等の状況について

① 病床が全て稼働していない病棟（非稼働病棟）を有する医療機関

| 圏域 | 医療機関名 | 病棟名 | 医療機能 | 病棟を稼働していない理由 | 今後の運用見通しに関する計画 |
|----|----------|-----------------|-------------|--|---|
| 中濃 | 可児とうのう病院 | 西3病棟 (36床) | 休棟棟 再開予定 | 医師、看護師の不足のため。 | 医師、看護師の充足の状況により再稼働を検討します。 |
| 中濃 | 東可児病院 | 3階一般病棟 (29床) | 休棟棟 再開予定 | 医師と看護師の不足が一番の原因です。 医師に関しましては、病死や退職が続き「医師の働き方改革」の影響も受けてより新規採用が難しくなっております。 大学に派遣を依頼しても人員不足を理由にうまくいっていません。 看護師につきましては、数年で退職する者が多く、若い看護師は県外の医療機関に移る者が増えております。 医師、看護師の処遇は、決して悪くありません。 | 医師は、紹介会社の活用と岐阜県、愛知県の大学医学部の定期訪問（教授・医局長面談）により派遣（増員）をお願いしております。 看護師は、日本の看護師免許を取得したベトナム人も2名採用しました。そして、看護系大学、看護専門学校の訪問を継続し、奨学金も活用して採用に努めます。 今後の運用の計画としては、一般病床29床を令和8年度末までにオープンさせ令和10年度末までに療養病床60床のオープンを計画しております。 |
| | | 療養病棟 (60床) | 休棟棟 再開予定 | | |

② 過剰な病床機能に転換しようとする医療機関

該当なし

③ 急性期医療を提供していない病棟を有する医療機関

該当なし